

「fukushima さくらプロジェクト」を通じて、福島・東北を応援！

東日本大震災から5年目となる日に、復興のシンボル

新種のさくら「はるか」を小学校に寄贈

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、東日本大震災の被災地への復興支援の一環として参加している「fukushima さくらプロジェクト」※1において、化粧品のキャンペーンを通じて育成してきた、新種のさくら“はるか”※2の2本目の苗木を寄贈しました。また、記念となる植樹祭を、震災から5年を迎えた2016年3月11日(金)に、千葉県浦安市立入船小学校にて行いました。



【児童代表によるさくらの植樹】

当社は2013年より、復興の象徴となる新種のさくら“はるか”を、全国各地に届けることで、福島・東北を継続的に応援する「fukushima さくらプロジェクト」に参加しています。同年8月からは、当社ならではの取り組みとして化粧品の販売を通じたキャンペーン※3を実施し、“はるか”の増殖を支援してきました。昨年初めて福島県の幼稚園に寄贈したのに次いで、今年は被災地・福島県以外で初となる千葉県浦安市立入船小学校に寄贈しました。今後も引き続き、新しい小さな桜の木が、未来の子供達の夢や希望と共に育つことを願い、幼稚園や小学校などを中心に苗木を寄贈し、植樹していく予定です。また、4年目となる化粧品を通じたキャンペーン(2016年1月16日～3月31日)を実施し、苗木の増殖をさらに支援しています。

◇2016年2月5日リリース URL <http://news.kose.co.jp/pdf/news/20160205.pdf>

今回の植樹祭では、在籍する児童の代表7名が、新種のさくら“はるか”の苗木を校庭の花壇に植え、その後全校生徒490名を集めた全校集会の中で、入船小学校の^{まりやま せいじん}鞠山誠人校長、さくらプロジェクト株式会社^{いのまた なお}猪俣菜央さん、株式会社コーセー経営企画部長^{はらたに よしのり}原谷美典が挨拶をし、入船小学校の開校を記念するとともに、被災した地域に思いを寄せ、命の大切さについて考えるきっかけにつながることを願いました。その後、児童代表の5年1組^{まつもと まなみ}松本真波さんによる挨拶のあと、今年2月9日にできたばかりの校歌を全員で歌いました。

当社では、今後も福島で生まれた新種のさくら“はるか”を全国各地に届けることで、復興支援の輪を全国に広げる活動を行っていきます。当社では、この「fukushima さくらプロジェクト」を通じて、被災地の復興を継続して応援していきます。

《植樹祭の概要》

日時:2016年3月11日(金) 8時45分～9時30分

場所:千葉県浦安市立入船小学校

(千葉県浦安市入船三丁目66番1号)

内容:苗木の贈呈、植樹、全校集会

主催:浦安市立入船小学校



【さくらの贈呈】



【鞠山校長先生挨拶】



【児童代表 松本真波さん挨拶】



【寄贈した苗木】

■浦安市立入船小学校 まりやま せいじん 鞠山誠人校長挨拶の要旨

2月9日は入船小学校の開校記念日です。この日を覚えていただきたいと思い植樹をすることにしました。そこでどんな木を植えればよいか考えていたところで、このさくらに出会いました。このさくらは東日本大震災で大きな被害を受けた東北の人たちを励まし、応援する意味で新たに作られた新しいさくらです。はるか彼方の未来に思いが伝わるように“はるか”という名前が付けられています。

皆さんは今日3月11日は何の日か知っていますか？高学年の方は5年前のあの日を覚えていると思います。この入船小学校の周りも液状化などの大きな被害を受け、みんなが大変な思いをしました。全国で地震はまたいつくるかわかりません。人の手で止めることもできません。私たちはそのための準備をしておかなければなりません。今日植えたさくらの木は、東日本大震災の

事を忘れないでいて欲しいということ、新しく開校した入船小学校の事をいつまでも覚えていて欲しいという願いが込められています。みんなで大切に育てて、小学校のシンボルにして欲しいと思っています。

■ 児童代表 5年1組 ^{まつもと まなみ} 松本真波さん挨拶の要旨

今日は3月11日です。あの東日本大震災から5年が経ちました。あの日は液化化などで色々な人が被害を受けましたが、今ほどの地域も復興に向けて頑張っています。今日植えた木は福島からきた八重桜“はるか”です。はるかの名前は「はるか彼方の未来まで広がって欲しい」という思いを込めてつけられたそうです。入船小学校と私たち児童も今からどんどん成長していきます。はるかも大きく、頼もしく成長していつくれるはずです。これからは自分達とはるかの成長を喜び、福島をはじめ、東北の方たちに少しでも笑顔が戻ってくるように願ひ続けましょう。

■ ※1 fukushima さくらプロジェクトについて

[URL:http://www.fukushimasakura.jp/](http://www.fukushimasakura.jp/)

「fukushima さくらプロジェクト」は、福島・東北を継続的に応援し続けるために、多数の企業の参加により、様々な広報活動を行うプロジェクトです。その取り組みの一つとして、福島発の新種のさくらを、全国各地に届けることにより、福島への関心を高め、復興を応援する気運を全国に広げる活動などを行っています。

■ ※2 新種のさくら「はるか」について

「はるか」は、森林総合研究所が開発し、福島県に贈られた新しい桜で、福島・東北を応援するシンボルとして、福島・東北の復興と共にはるかかなたの未来にまで広がって、大輪の花を咲かせてほしいという想いをこめて名づけられました。

■ ※3 fukushima さくらプロジェクト 当社ならではの取り組みについて

当社では、2013 年から「fukushima さくらプロジェクト」の“福島発の新種のさくら”が復興の象徴となって、被災地と全国の方々が強い“絆”で結ばれることを目指し、福島・東北の応援を続けています。また同年 8 月からは、化粧品会社であることを活かして、当社の代表的なブランド『エスプリーク』『コスメデコルテ』『プレディア』の販売を通じて、福島・東北を応援しています。対象商品の売上の一部を、新種のさくらの増殖費用に寄付するキャンペーンを行ってきました。また、2015 年からは、新種のさくらの増殖・植樹費用に寄付するキャンペーンとして実施しています。

◇当社のさくらプロジェクトの取り組み <http://www.kose.co.jp/company/ja/csr/special2/>

■ 苗木増殖について

苗木は、福島県林業研究センターに建設された苗木の養生ハウスで増殖しています。



【養生ハウスの様子・苗木の様子】

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社コーセー 広報室 TEL 03-3273-1514(直通)